

7 | No.627
JUL.2023

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<https://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



ペンギンシステム(株)代表取締役 仁衛琢磨氏



茨城経協

CONTENTS

- 01 トップインタビューVol.50
「さまざまな環境に適応して生息するペンギンの如く」
ペンギンシステム(株)代表取締役 仁衛琢磨氏
- 05 茨城キリスト教大学寄付講座
①「公認会計士・税理士について」
小野瀬・木下税理士法人 小野瀬公認会計士事務所 代表社員 小野瀬貴久氏
②「仕事の本質と求められる人材像」
(株)ユードム代表取締役社長 森淳一氏
- 07 新政策委員ご紹介
- 08 委員会報告 環境委員会/環境研究会
- 09 支部だより 県北地区支部/日立地区支部/常陸・那珂地区支部/水戸地区支部
土浦・石岡・つくば地区支部/取手・龍ヶ崎地区支部/県西地区支部
古河・坂東地区支部/鹿行地区支部/支部共催事業
- 13 新入会員のご紹介
- 14 最近の労働判例から (一社)日本経済団体連合会 労働法制本部
- 15 士業の広場¹⁸
「地域社会と人のために」
<旭社会保険労務士法人 所長 木村薫氏>
- 16 偏屈爺の甘辛放談²⁵
「世界を魅了する天才プレイヤー・大谷翔平」
<茨城新聞社・元論説委員長 小沼平氏>
- 17 <寄稿>「茨城経協・ベトナム経済視察に参加して」
<日本貿易振興機構(ジェトロ)茨城貿易情報センター所長 吉田雄氏>
- 18 <寄稿>「24卒学生の入社先決定のポイントと入社後の配属先について」
<(株)マイナビ茨城支社支社長 木村純弥氏>
- 19 NPO情報 Vol.272<茨城NPOセンター・commons代表理事 横田能洋氏>

経営者協会ホームページ
<https://www.ikk.or.jp/>



茨城経協



ペンギンシステム(株) 代表取締役

に ひら たく ま
仁衡 琢磨 氏

聞き手:ケイツーマネジメント代表 葛田一雄氏

**会社概要**

- 所在地: つくば市千現 2-1-6 つくば研究支援センター CB10
- 資本金: 2,500 万円
- 事業内容: 研究者支援ソフトウェア受託開発、共同研究開発等
- ホームページ: <https://www.penguins.co.jp>



さまざまな環境に適応して 生息するペンギンの如く

ブラックボックスの中身を作る会社

常に社員にはブラックボックスの中身を作るエンジニアであれ、と言っています。プログラム言語にも流行り廃りがありますが、流行りの言語に飛び付くだけではダメ、従来からある技術やプログラム言語も大事にして、それらをしっかり活用する力も大事だよ、と。「中身は判らないけれど便利な道具があって、それを組み合わせれば一丁上がり」というのではなく、便利な道具を中身をしっかりと自分で考えて理解して作ってほしいと願っているのです。

会社を引き継いで

弊社は1983年に創業、今年でちょうど40周年です。

創業時から20年以上、東京都千代田区岩本町に会社がありました。創業者である社長を含め5人体制のときに、私が6人目として入社しました。当時の私は、夕食は定食屋で食べて、銭湯に行き、また会社に戻って仕事して、椅子を三つ並べて仮眠して、深夜に働くなどという状態でした。IT企業によくあるブラックな状態で、酷いときは200時間残業もありました。そんななか二代目社長が私を取締役に抜擢、しかし会社の財務状況は赤字続きで極めて悪く、社長を支える立場として様々に苦慮しながらの対応続きでした。その頃は結婚して家庭を持った時期でもあり、赤字の会社を支え続けることに苦悩し、「辞めたい」と社

長に申し入れました。すると社長からは思いがけず「会社を継いでほしい」との言葉が。厳しい財務状況の会社を継ぐことには躊躇がありましたが、一方で会社に対する愛着もあり、自分のやり方で会社をよくしたいと考え、引き受けました。

それからは、技術力が高いだけではなく全工程をこなせる人材を育ててきました。「上流工程だけできます」、「プログラムだけできます」ではダメです。お客様のしたいことを聞いて、それを具現化する設計をし、実際に開発をし、テストをして納品するという全工程ができる多能工の育成を目指してきたのです。また、残業続きで社員がボロボロに疲れてしまうのはよくないの

で、「難しくても付加価値が高いものにチャレンジし、残業をできるだけなくしていこう」と考えました。当社は私が入社する前からつくばや東海村の研究所や大型施設の仕事もやっていたので、社長就任の年、思い切ってつくばに移転することとしました。それから17年、つくばで頑張っています。

受託請負が中心の当社ですが、自社製品も幾つかあります。その一つが「見ん者（みんじゃ）」です。筑波大学との共同開発から生まれた、運動動作や手順の習得を促進するアプリです。「お手本の運動動作」と「撮影した運動動作」の重要局面を比較することで、正しい運動イメージの習得、自分の運動動作を客観的に把握する、上達が目に見えることによるモチベーションアップ、そして学びあい・コミュニケーション能力の育成が期待できます。

楢円には二つの重心がある

プライベートでは、谷川雁（※1）という人を長年研究しています。私は谷川雁の言葉からたくさんことを学び、彼に関する著作も一作上梓しています。彼が大事に思っていたのは楢円です。楢円には二つの重心があり、真円よりも安定した形です。二つ重心があるほうが一つしかないよりもいい、このことは様々な事に当てはめられる真理だと感じます。二つ重心が

あることからバランスを取る感覚が重要であることも学びました。自分の性格的にもこの考え方はしっくりきて、大切に思っています。「ペンギンさんならこういうことできるよね」と言われる楽しさもエンジニアとして感じていましたから、お客様の要請と私たちがしたいことをバランスよく整合しつつ、事業を進めています。

我々は主役ではなく伴走者だ

我が社にとって変えてはいけないものは「お客様に寄り添って伴走する気持ち」です。お客様が主役だとも言い換えられます。IT業界にいと、カタカナ言葉を並べて、実はよく分からないことを熟知しているかのように話す人も結構います。「カタカナ言葉を並べておけば何とかなるだろう」というのではなく、顔を合わせて会話をして、「こうでしょうか」「ああでしょうか」と手間暇かけてオーダーメイドのものを作るのが我が社のやり方です。お客様が主役であって、我々は伴走者です。つまりは、主従関係や上下関係ではなく、隣に寄り添って一緒に走っていく立場です。

当社のお客様には研究所や大学の研究者が多く、その方たちは日本トップクラス、世界トップクラスの研究領域を持っています。社員にはそういう方をリスペクトしていこう、しかし受発注は縦関係で

はない、と言っています。「仕事をくれればなんでもいいです」では良いことは何もないし、クリエイティブなものが作れるはずもありません。「こっちが発注者なのだから言うことを聞け」という態度の発注者からは次から仕事を受けなくていいとさえ思っています。

お客様の専門分野を尊重しつつ、我々はシステム開発のプロフェッショナルだという自負をもって仕事をしています。お客様がやりたいことをシステム化して実現することが私たちの仕事です。だからこそ対等な立場なのです。少しずつ時代が変わり、お客様のニーズが変わっても、そこは変えてはいけないと思っています。

三方良し

経営の原点は、近江商人の「三方良し」（※2）。客よし、自社よし、世間よしです。事業を続けていると、普段とは桁違いなお金が貰えるような儲け話のような話が舞い込んでくることもあります。しかし「世間よし」に該当するかを基準に、お断りしています。世間に顔向けできないようなものを作って、枕を高くして眠れるのかということです。自社だけよくても経営は続きません。ヒットアプリを作ったら何百万ダウンロードされて儲かった。しかし、時間が経過すると倒産していた、という例も少なくない、浮き沈

みの激しいソフト業界で、堅実に事業を続けていくことが大事だと考えています。

理念と使命／メンバー全員が全力でこの組織に属する

お客様が欲しいものを作って「はい、どうぞ」と渡すのが弊社の仕事です。粗製乱造ではなく良いものをきちんと作ってお納めすることをモットーにしています。我々はオーダーメイド屋です。「目の前にいる人を大事にする」ということが理念です。オーダーメイドは決して簡単なことではなく、継承も難しいものです。会社のメンバー全員が全力でこの組織に属するという自己認識が全て、谷川雁の言葉を念頭に社員にも常に話しています。

大量生産がよくないこととは思いますが、当社はオーダーメイド屋だという自己認識を大事にしています。出来合いの服だけで社会は成り立っていません。もちろん吊るしの服にも価値があります。しかし、作り手が着る人のために採寸して丁度いいように作るのが服の起源だったはずです。

産業革命によって大量にものを作ることになりました。吊るしの服の方が普通になってしまいました。産業革命以降、大量生産の時代が長く続き、欧米的な資本主義・合理主義的な風潮が世界を席卷しています。当社は仕立屋が一着一着作るのと同じよう

に仕事をしています。「ペンギンシステムは難しいものでも『分かりました、作ります』と言って作ってくれる」とお客様に感激や高評価をいただいています。そういった立場で居続けること、それが当社の使命です。

第三の時代、新しい風

私が社長を継いだ時に第二創業ということを外に言いました。各所の研究所、大学を訪ね歩き、新しく顧客も獲得してきました。つくば周辺に限らず全国の研究者が当社のお客様です。「研究者支援のペンギンシステム」というキャッチフレーズを第二創業の時に考えました。必ずしも研究者だけを対象にしているわけではなく、自分の身に合ったぴったりのものが欲しいというお客様を支援したいというのが根本です。

研究者、大学への運営費交付金が年々減っています。自由な研究をする研究者が減ってきています。上層部が決めたテーマに沿った研究ばかりになり、全体的に予算が管理され、大きい予算がついているところに大勢が属しているような状態です。うちのような会社に頼んでこつこつと研究を続けたい、推進したいという一品一品オーダーメイドのお客様がやりづらい世の中になっています。

第三の創業の時期を迎えているのではという感覚はここ5年、10年持っております。

その危機感から自社製品開発に取り組み、海外に売り込みにも行きました。そういった挑戦を続けていって、第三の時代の新しい風を吹かせたいと思っています。

面白いじゃないか

プログラム言語ですから、言語的なセンスも必要であり、数学が得意な人じゃないとやれないという仕事ではありません。お客様は多様です。聞いたこともないようなことをやろうとしていますから、凝り固まった通り一遍の知識しかないと対応できません。その人が何を話しているのか、何がしたいのかも分からないと仕事にはなりません。私は『ことばと文化』という鈴木孝夫（※3）さんが書かれた本を愛読し、鈴木孝夫研究会の事務局を担ったりもしてきました。ことばと文化の関係はどの業種でも大事にすべきテーマだと思っています。

自分が信じるものがこれしかないと思ってしまうと人間そこで成長は止まります。いろんなことを知っていて、いろんなことを受容できるという姿勢がある人が文化を大事にする人であり、文化人であると思うのです。どういう職業の人であれ、文化を大事にする人、自分の文化、相手の文化、他の人の文化、いろいろな文化を大事にする姿勢を持っているか持っていないかで人生の鮮やかさも変わるで

しょうし、生きる豊かさも変わってくると思います。

全社会議や朝礼などの機会にいろいろなお話をしますが、主題は「専門バカにはならないようにしよう」です。何でも面白がって「さあ、やろう」「これ、面白いじゃないか」と思って前向きに臨むのと、「面倒くさいな」と思って作るのでは出来映えが全然違います。

臆病になっていては何もできない、楽観的でありたい

落ち込むこともあります。社員の前ではできるだけ明るくしています。どのような事態でもやりきっていく姿を見せたいと思っています。一方で本当に困ったときは、役付き社員の会などで「本当に困った。こういうのがあるのだけど、どうしたらいいかな」などと相談したりもしています。

経営にとって肝心なことは明るくあることです。一方で心配症の面もないといけないのでその二つの重心をバランスさせることが大事です。ただ心配ばかりして臆病になっていては何もできないので、

基本は楽観的であるべきだとも思っています。

変えてはいけないもの、変わるべきもの、変えていいもの
社員には、「ここは一切変えないけれどもここは変えていい、今回のことについてはこうで、次のときの現場ではこうだ」と話しています。短い時間で話さなければいけないときに要点だけを喋ると「あれ？社長、前と違うこと言っているな」となってしまいます。時間を掛けて懇切丁寧に話したいのですが、そうできない場合もありますので、いつも「ちょっと違うこと言っていたね」と思われるかもしれないですね。ただ、根幹にあるものは不変にして、表層の部分は変化させるべきという信念が私にはあります。その信念を大事に、これからも我が社の経営に取り組んでいきたいと思っています。

(聴き手から)

ペンギンシステム(株)は、創業以来約40年にわたり研究職をはじめ様々なお客様のニーズにお応えし、柔軟なシ

ステム開発を生業としてきました。

ペンギンを漢字にすると企鵝(きが)です。「企」はつま先立つ、「鵝」はガチョウです。

人の座り方には、正座、胡坐(あぐら)、跪坐(きざ)そしてあひる座りなどがあります。跪坐は、つま先を立てた正座であり、神道、弓道、伝統空手、古流剣術の控えの姿勢にみられます。足が痺れない正座姿勢ですから即座に反応しやすい座位です。平安時代から室町時代までの目上の者に対する従者の座法として膝頭を開脚した跪座や片膝立ちが見られます。

代表取締役仁衡琢磨さんの愛読書は谷川雁および鈴木孝夫の著作群です。谷川雁の燦めく言葉を会社経営にも活かし、「三方良し」を旨として、『ことばと文化』(鈴木孝夫著)からも薫陶を得て言語をメソッドにしています。

今がその時の心意気をもつた「只管」(しかん。一つのことに専念すること)の気構えで跪坐の姿勢を崩さないトップマネジメントでした。

- ※1 谷川雁(本名 谷川巖 大正12年12月25日 - 平成7年2月2日) / 詩人・評論家・サークル活動家・教育運動者。熊本の生まれ。詩集「大地の商人」、「原点が存在する」などの著作があります
- ※2 三方良し / 自らの利益のみならず、買い手である顧客にも世の中にとっても良いものであるべきという近江商人の考え方です。江戸中期、江戸幕府は近江(今の滋賀県)を天領(幕府の直轄地)としました。近江の商人は、「葵」の紋の入った通行手形で日本各地の関所を優位に通行できるようになり、各藩あるいは幕府の御用商人として躍進を遂げました
- ※3 鈴木孝夫(大正15年11月9日 - 令和3年2月10日) / 言語生態学者・環境保全実践者。慶應義塾大学名誉教授。「ことばと文化」「人にはどれだけの物が必要か」などの著作があります。日本野鳥の会でも長年活動しました

「公認会計士・税理士について」

小野瀬・木下税理士法人 小野瀬公認会計士事務所
代表社員 小野瀬 貴久氏

小野瀬 貴久氏

本日は、公認会計士・税理士の業界動向、当社の企業概要や業務内容、手に職をつける（難関資格取得）ことのメリット、社会人になる為に今身につけておくべきスキルや心構えについてお話しします。

国家資格である公認会計士は、「監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護等を図り、もつて国民経済の健全な発展に寄与する」ことを使命とし、主に法定監査、法定監査以外の監査、国際的な監査、税務、コンサルティング業務などを行います。日本には現在約

34,000人の会員がおりますが、難関資格である短答式試験（4科目）と論文式試験（5科目）に合格したとしても、実務要件を満たす必要があるため、多くの合格者は、まず、4大監査法人へ就職するといった特徴があります。

また、税理士は、税の専門家として、主に企業や個人事業主の税務代理、税務書類の作成、税務相談及び会計業務を行います。日本には現在約80,000人の登録者がおります。

当社は、水戸オフィスに51名の職員（うち税理士4名）、ひたちなかオフィスに19名の職員（うち税理士3名）がおり、主な業務内容としては、一般的な税務や会計に関する顧問業務に加え、医業・福祉・介護の経営相談、クリニックの独立開業、相続税対策、コンサルティング業務を強みとしております。一方で、職員の高齢化、地方の人材不足、若手の育成、顧問先へのより付加価値の高いサービスの提供など今後の課題も数多く抱えております。

次に、手に職をつける（難関資格取得）ことのメリットを私の経験談をもとにお話ししますと、「社会的地位の向上（就職・転職活動や給与面など）」、「他人からの目が、良くも悪くも変わる」、「自分の努力が他人にも伝わり易い」、「専門性があり、自信に繋がる」などが挙げられます。皆さんも是非、難関資格取得にチャレンジしてみてください。

最後に、社会人になる為に今身につけておくべきスキルや心構えとしては、「仕事に出来るかどうかは別として、自分が好きだと思えるもの（趣味）を持つこと」、「相談に乗ってくれる友人や頼れる大人を持つこと」、「仕事に対する当事者意識と責任感を持つこと」等が重要であると考えます。そのようなことを踏まえ、学生の皆さんには今の学生生活をより充実したものとし、将来を見つめ直すきっかけにして頂ければと思います。また、土業の仕事にも興味を持って頂けましたら幸いです。

「仕事の本質と求められる人材像」

株式会社ユードム

代表取締役社長 森 淳一氏



森 淳一氏

本日は、IT業界の現状、当社の紹介や求める人材像についてお話しします。

まず初めに、皆さんは「仕事」とはどういう事だと考えますか。私は「他者の課題解決」であると理解しています。皆さんのアルバイトもどんな仕事も誰かの課題を解決しています。相手が何に困っているのか、その本質を捉え、自らの価値（製品やサービス）を提供し、そして感謝される。それこそが仕事の本質であり、それが意識できてはじめて仕事にやりがい生まれ、それができている人が仕事ができる人だと私は思っています。

さてIT業界の話をしみますと、近年DXの推進等により需要が高まっていますが、同

時に人手不足の課題も抱えており、2030年には40～80万人の技術者が不足と言われています。一方でIT関連の就業人口自体は増えていき、2050年には全就業者の約10%（現在約3%）が従事しているといった試算もあります。文系出身でも多くの方々が活躍されているので、皆さんも就職先の選択肢に入れてみてはいかがでしょうか。

次に、当社について紹介します。当社は1976年に設立された県内でも老舗のIT企業です。水戸、土浦、東京の3拠点、グループ4社に計461名が在籍しております。地域未来牽引企業や健康経営優良法人（大規模法人部門）にも認定され、「ITと人間力で社会に貢献する」をモットーに様々な業種のお客様の課題をITで解決しています。また「絶えざる技術革新と創造で、お客様および社会に貢献し、社員すべてが豊かで生きがいを持って働ける企業として発展する」という企業理念のもと、CO2測定システムなどの自社製品の開発販売、健康インセンティブ型確定拠出年金や60以上の

資格を対象とした取得奨励金等の福利厚生の充実、そして施設命名権の取得をはじめとした様々な地域貢献活動にも力を入れています。

当社が求める人材像は、「常に向上心を持ち挑戦できる人」「基本的な人間力を有している人」です。AI時代の到来により、言われたことしかできない人の仕事は無くなります。本質を掴み、想像して創造し、解決策を自ら提案できる人材を育てていきます。

最後に皆さんへエールを送ります。私は著名な経営者お二人の次の言葉に共感しています。「人生・仕事の結果＝考え方×熱意×能力」「人間の能力の差はせいぜい数倍、しかし意識の差は100倍にもなる」このように、最終的には前向きでやる気があり、意識高く努力できる人が社会で活躍していくと私も信じています。皆さんにも、チャンスは平等にあると思いますので、是非そのような人材となっただけ社会でご活躍されることを期待しています。可能性に満ちた皆さんを心から応援しています。

新政策委員のご紹介

令和5年度より新たに政策委員にご就任頂いた方々をご紹介します

【新任政策委員】



県西地区支部長

保坂 賢司氏
㈱スミハツ
取締役常務執行役員管理本部長



総務委員長

野崎 潔氏
㈱常陽銀行
取締役専務執行役員



産業政策委員長

原田 誠一郎氏
㈱小松製作所
執行役員生産本部茨城工場長



地域関係委員長

松木 裕人氏
東日本電信電話㈱
茨城支店長



青年経営研究会会長

木瀬 裕氏
㈱下妻スポーツ
代表取締役

環境委員会

ISO14001 内部監査員養成研修会を開催

環境委員会（委員長 荒井徹氏 キヤノンエコロジーインダストリー(株)代表取締役社長）は、茨城県産業会館にて、6月15日（木）～16日（金）ISO14001 内部監査員養成研修会を開催した。

当研修会は、ISO14001 の認証取得を目指している組織の方、または内部監査員の養成を必要としている組織の方を対象に、規格の概要から監査の実務までを学ぶ2日間の通学研修として開催し、特に内部監査員として必要な監査技法を習得することに力をいれている。

講師には、ISOの入門から活用までをサポートするセミナー業務と、審査業務を実施

している(株)品質保証総合研究所（JQAI）ISO14001 主任審査員の中井邦治氏をお招きした。

受講者は、講師による解説とロールプレイングにおいて監査側・被監査側の立場を体験しながら理解を深め、受講者全員が修了テストに合格し、修了証書を授与された。

なお、今後のISO内部監査員養成研修会は、下記のとおり開催を予定している。

[ISO 14001 内部監査員養成研修会（研修時間は何れも9:30～17:00）]

・令和5年9月21日（木）～22日（金）の2日間（会場「県産業会館」にて開催）

※講師は株式会社品質保

証総合研究所（JQAI）ISO14001 主任審査員

[ISO 9001 内部監査員養成研修会（研修時間は何れも9:30～17:00）]

・令和5年9月7日（木）～8日（金）の2日間（会場「県産業会館」にて開催）

・令和5年11月9日（木）～10日（金）の2日間（会場「県産業会館」にて開催）

・令和5年12月7日（木）～8日（金）の2日間（会場「県産業会館」にて開催）

※講師は株式会社品質保証総合研究所（JQAI）ISO9001 主任審査員

環境研究会

本年度の事業活動について協議検討

環境研究会（代表幹事 鈴木良治氏 (株)日立製作所 日立事業所 エネルギー環境管理センタ長）は、6月8日（木）、当協会相談室において環境研究会幹事会を開催し、本年度事業活動計画（素案）および収支予算（素案）、本年度役

員（素案）について、報告協議を行った。

本幹事会は、本年度の事業活動計画（素案）や役員（素案）などに対し、各幹事よりご意見求め、来たる総会開催に向け事業活動などを協議検討する会合。

各幹事からは「カーボンニュートラルの情報提供」や「省エネ活動の事例紹介」を求めご意見があった。各幹事から寄せられたご意見を加味し、9月6日（水）開催予定の総会に諮ることです承された。

県北地区支部

2022年度活動報告および2023年度活動方針を協議

県北地区支部（支部長 津村昭洋氏 ㈱茨城サービスエンジニアリング代表取締役社長）は5月30日（火）、「としまや 月浜の湯」において本年度第1回役員幹事会を開催した。

はじめに津村支部長が「本年度は第10次中期運営要綱の初年度を飾る重要な年であり、議案も多数ございます。活発な協議をお願いしたい」との挨拶から開会が宣せられた。

報告事項として、事務局が

「第10次中期運営要綱」の説明につづき、「令和4年度活動実績」についての報告がなされた。

その後、「第10次中期運営要綱」の趣旨を踏まえた「令和5年度の支部活動計画」について説明がなされ、協議検討を行った。

[今年度の支部活動の予定]

①2023年9月7日（木）
支部総会・講演会・交流会
（五浦観光ホテル）

講演：実り多い豊かな人生
私は創造的でありたい
講師：若宮正子氏

②2023年11月11日（土）
チャリティコンペ
会場：五浦庭園カントリークラブ



日立地区支部

令和5年度第1回役員幹事会を開催

日立地区支部（支部長 家次晃氏 日立埠頭㈱取締役社長）は6月19日（月）、日立市・日鉦神峰クラブにおいて令和5年度第1回役員幹事会を開催した。

はじめに、家次支部長が挨拶に立ち「5月からコロナ感染症への対応のあり方が変わり、本年度の支部活動は、あらためて経営者間の『交流』を通じた経営力の強化に資する活動を展開していきたいと考えております。まず報告事項では、加藤専務理事より6月9日開催の定時総会においてお示しました第10次中期運営要綱ならびに令和5年度の重点活動計画について報告いただきます。協議事項と致しましては、本年度の支部活動について、とくに会

員の学びの機会となる、講演会、視察会のテーマ設定についてご意見、ご協議をお願い致します」と述べた。

事務局より前回役員幹事会より異動のあった役員幹事を紹介し、報告、協議に移った。

加藤専務理事が定時総会の開催ならびに令和5年度経営者協会重点活動について報告し、今後3年間で「全会員参加型」の活動を目指し企画、運営していくことを強調した。引き続き、黒澤産業政策担当課長が、令和5年度の「県政要望」については1か月前倒しして提出する予定であることを説明した。

本年度の支部活動について、講演会については、第一のテーマとしてAIや

Chatgptといったテクノロジーの活用について、第二のテーマとして若手社員の採用・育成について、とすることが決まった。

視察会では、環境問題に取り組む先進企業、およびエネルギー問題に関わる事例に学ぶ、2本のテーマを採用することとなった。

[異動]

副支部長 相場玲宏氏
JX金属㈱執行役員日立事業所長
（前 鈴木義昭氏）
幹事長 高倉拓真氏
㈱日立製作所日立事業所庶務課長
（前 稲川修氏）
副幹事長 久保木真氏
㈱日立リアルエステートパートナーズ 不動産事業部副事業部長
（前 久保哲弥氏）

幹事 中言裕之氏
(株)JWAY代表取締役社長

(前 左子幸治氏)
幹事 高野尚仁氏

(株)筑波銀行日立支店長
(前 岡部和幸氏)

常陸・那珂地区支部

2022 年度活動報告および 2023 年度活動方針を協議

常陸・那珂地区支部（支部長 柳生修氏 コロナ電気(株)代表取締役社長）は5月15日（月）、「いさ美」において本年度第1回役員幹事会を開催した。

はじめに柳生支部長が「コロナ禍も落ち着きが出てきて、マスク着用も緩和されつつあります。本会において

は、令和5年度の支部活動方針を固める重要な議案が多数あります。忌憚のない活発な議論をお願いいたします」との挨拶から開会が宣せられた。

報告事項として、事務局が「第10次中期運営要綱」の説明につづき、「令和4年度活動実績」についての報告がなされた。

その後、「第10次中期運営要綱」の趣旨を踏まえた「令和5年度の支部活動計画」について説明がなされ、協議検討を行った。

【今年度の支部活動の予定】

2023年10月17日（火）

若手社員研修～主体性の発揮～
(ホテルクリスタルパレス)

水戸地区支部

令和5度 第1回 役員幹事会を開催

水戸地区支部（支部長 幡谷史朗氏 茨城トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長）は、6月2日（金）水戸京成百貨店会議室において、本年度第1回役員幹事会（幹事長 小林浩一氏(株)ニコン水戸製作所長）を開催。

はじめに、幡谷支部長および加藤専務理事より挨拶を頂いたあと、今回新たに支部役員幹事に就任された幹事からの挨拶を経て、支部活動につ

いて報告・協議を行った。

報告事項では、事務局より「本年度経協重点事項」、「第10次中期運営要綱概略」、「昨年度の支部活動報告」が行われ、協議事項では、「本年度の支部活動計画」について協議がなされた。

支部活動計画の中では、支部総

会時の記念講演講師案及び行政懇談会時の講師案について協議がなされた。その後、出席幹事から全員から近況報告を頂き、併設の懇親会にて交流を深め、散会となった。



土浦・石岡・つくば地区支部

第1回役員幹事会を開催、本年度の活動スケジュールについて協議

土浦・石岡・つくば地区支部（支部長 塩谷智彦氏 (株)東京電機 代表取締役社長）は5月25日（木）、ホテル日航つくばにおいて本年度第1回役員幹事会（幹事長 平松弘基氏(株)カスミ取締役執行役員コーポレート管理本部マ

ネジャー）を開催した。

はじめに加藤専務理事が「令和5年3月の年度末をもって1期2年、支部長をお務め頂きました関東鉄道の松上様が退任され、4月より塩谷前副支部長が支部長に就任されました。本日は新体制

となりましての初役員幹事会となります。昨年度を振り返りますと、松上支部長のもとで強力に推進されました会員ご紹介キャンペーン“チャレンジ75”では、当支部が9支部に先駆けて目標を達成されました。松上前支部長をは

じめ、副支部長、幹事のみなさまのご協力に対しまして、改めて厚く御礼申し上げます。本年度もつきましても塩谷新支部長のもと、活発な活動が推進されますことを期待しております」と開会の挨拶を述べた。

引き続き、支部長に就任された塩谷氏が就任の挨拶に立ち「松上前支部長の後を受け、支部長に就任致しました。松上前支部長は、昨年度協会創立75周年を記念した会員ご紹介キャンペーンについて、常に先頭に立たれ、励ましと労いの言葉を掛け続け

られました。その結果、当地区支部は素晴らしい成果を上げることができました。そのような卓越したリーダーシップを発揮されました松上前支部長に習い、私も会員各社に有益な活動を提供できるよう尽力して参る所存です。何卒ご協力の程お願い致します」と述べられた。

報告協議に移り、「第10次中期運営要綱」（令和5年～7年）ならびに令和5年度経営者協会活動方針について、また令和

5年度「産業政策に関する会員ニーズ」アンケートについて、それぞれ報告がなされた。

また令和5年度の支部活動については、「コロナ感染症が終息したこともあり、経営者の交流の場、懇親会の併設の回数増やしてはどうか」との意見が出され、新たに視察会を企画し、会員相互の学び合いの機会を創出することとなった。



取手・龍ヶ崎地区支部

令和5年度第1回役員幹事会を開催

取手・龍ヶ崎地区支部（支部長 森木博之氏 キリンビール(株)執行役員取手工場長）は、5月15日（月）、本年度第1回役員幹事会（幹事長 有賀堅太郎氏 日本メクトロン(株)人事部長）をキリンビール取手工場にて開催した。

はじめに、森木支部長および加藤専務理事が挨拶をさ

れ、その後、有賀幹事長の進行のもと、主に本年度の支部活動計画（案）について協議検討した。

本年度より、新たな幹事として「川上商事(株) 代表取締役社長 川上洋氏」「坂入社会保険労務士事務所 代表 坂入浩行氏」「常陽建設(株) 代表取締役 飯田竹世氏」の3名が就任し、

今後の支部活動の運営等について協力いただくこととなった。

本年の支部活動では、若手職員向けの研修会の開催や各界で成功された著名な方を招いての講演会、また、先進的な経営に取り組まれている企業や注目をされている施設を実際に訪れる視察会等について、企画をしていくことを確認した。

県西地区支部主催

“若手社員研修会～主体性の発揮～”を開催

県西地区支部（支部長 保坂賢司氏 (株)スミハツ 常務執行役員 管理本部長）は6月21日（水）、ダイヤモンドホールにおいて、「若手社員の主体性発揮」を目指して「若手社員研修会」を開催した。定員50名での案内であったが、定員を上回る54名（18

社）が参加された。

講師には、株式会社インソース 専任講師 加藤晶子氏をお招きし、ご指導いただいた。

本講座は、「今までの仕事を振り返り、自分自身の現在地の客観的な理解を促す」ことを目的とし、さらに「若手の社会人としての会社内での

立場や役割を認識し、主体性を発揮する上で必要な判断基準や具体的手法」について解説していただきました。

各参加者は、グループワークの研修が新鮮であった模様で、アンケートでは「異業種他社の方との交流がよい経験となった」「若手だけでなく

幅広い世代が受講すべき」といった感想のほか、「同年代での交流」を評価するコメントが特徴的であった。



古河・坂東地区支部

令和5年度第1回役員幹事会を開催

古河・坂東地区支部（支部長 齋藤秀雄氏 積水ハウス(株)業務役員 関東工場長）は、5月29日（月）、本年度第1回役員幹事会（幹事長 塩谷和宏氏 (株)常陽銀行 古河支店長）をホテル山水にて開催した。

はじめに、齋藤支部長が挨拶をされ、その後、塩谷幹事長の進行のもと、主に本年度の支部活動計画（案）につい

て協議検討した。

本年度は、新たな交流の機会として、当協会の会員でもある大利根カントリークラブにて会員交流会（交流ゴルフコンペ、8月18日（金）開催）を開催する他、環境に配慮した経営の推進やそれらに付随する様々な

取組みを伺う視察会を開催していくことを確認した。

また、役員幹事会社の近況報告や情報交換も行い、各社より2～3分の時間にて、各社の課題や業界の動向などの報告を行った。



鹿行地区支部

令和5年度第1回役員幹事会を開催、年間支部事業計画を協議

鹿行地区支部（支部長 片岡尚氏 鹿島石油(株)鹿島製油所常務取締役）は、5月18日（木）、鹿島セントラルホテルにおいて、令和5年度第1回目となる支部役員幹事会を開催。事務局含め16名が出席した。

冒頭、片岡支部長より「コロナも5類に移行され、本格的にコロナ以前の生活様式を取り戻していくことを期待したいが、この3年の間、エネルギー問題ははじめ物価高騰など様々な環境変化もあり、厳しい経営環境は続くのではと懸念している。そのような状況下、会員の皆様に喜んで頂ける事業を展開できる

よう本日も忌憚のないご意見をお願いしたい」と挨拶。その後、本年度の幹事長をお務め頂く矢幡俊彦氏（日鉄物流 鹿島(株)管理部担当部長）の進行により協議が進められた。

今後の鹿行地区支部の事業予定は下記のとおり。

(1)若手スキルアップ研修

日 時：9月20日（水）

9：30～16：30

場 所：日本製鉄鹿島人材育成センター

テーマ：第2期 壁を乗り越える研修～同世代の他

参加者との交流から気づきを得て、仕事力を高める～

講師：インソース専任講師 木元栄子氏

(2)鹿行支部講演会

日 時：10月25日（水）

15：00～19：00

※交流会併設

場 所：鹿島セントラルホテル
テーマ：ストレス社会における心のあり方（仮題）

講師：福巖寺住職 大愚元勝氏



当協会は、全支部共通で「マナーアップ&クレーム対応力強化セミナー」を6月6日(火)茨城県産業会館にて開催した。

本セミナーの講師には、人財教育やサービスレベル調査を得意とする(株)EMMY(エミー)代表取締役の渡辺満枝氏を講師としてお招きした。

研修内容では、挨拶・姿勢・服装・身嗜み・言葉遣いなどの一般的なマナーに加えて、電話対応・来客対応・案内誘導の仕方・訪問マナー・名刺交換・お茶の出し方・席

次などの多種多様なビジネスマナーを、ロールプレイやグループディスカッション通して行った。

また、実際にクレームが起きた場合に使いたい言葉と使ってはいけない言葉、身近なクレーム事例や悪意のあるクレーム事例などを挙げながら、クレームへの対応の仕方についても指導いただいた。

受講者からの意見(アンケートより抜粋)として「新入社員時に学んだことを改めて学ぶ事ができ再確認できました。また、普段何気なく使っ

ている言葉遣いが、間違いであることに気付くことができ良かったです」「ビジネスマナーやクレーム対応について、基礎的な知識や実践を積んでおりましたが、まだまだ学ぶべきところが多く感じました。また、他社の方々のご意見等を耳にする機会も得られことや、先生から伺った事例や確りとした理由付けの解説も頂きましたので、とても解り易く大変参考になりました」などの意見が寄せられた。

新入会員紹介

AESC 茨城

■常務執行役員 宮岡 清房



Data
所在地/東茨城郡茨城町
中央工業団地
9番10号
TEL/070-3393-4382
業種/車載用リチウム
イオンバッテ
リーの生産(日
産リーフのバッ
テリーは当社製
です)
従業員/260名

Appeal Point

AESCグループは、EV(電気自動車)用のリチウムイオンバッテリーの開発・製造・販売を行っています。当社のリチウムイオンバッテリーが搭載されたEVは12年間で95万台以上にのぼりますが、重大不具合“ゼロ”を継続しており、世界中のお客様から満足と信頼を頂いています。

この度、茨城県様のご尽力により、国内最大級のバッテリー工場を茨城町に建設中であり、操業開始は2024年初頭を予定しています。この工場は世界中の生産拠点のマザー工場として中心的な役割を果たします。それと同時に、バッテリー生産におけるカーボンニュートラルを実現し、自動車の電動化(EV化)を通じた持続可能な社会の実現に貢献していく所存です。

地元の発展に貢献し、地元の皆様に愛される会社になれるように努力していきます。どうぞよろしくお願い致します。

◆◆◆ 最近の労働判例から ◆◆◆

労働者の業務災害等保険給付支給処分に対する抗告訴訟について、事業主の原告適格が否定された例

一般財団法人あんしん財団事件
東京地裁令4.4.15判決

【事件の概要】

労働保険の保険料の徴収等に関する法律に基づくいわゆるメリット制の適用を受ける事業の事業主である原告において勤務していた補助参加人が、業務が原因で精神疾患を発症したとして療養補償給付及び休業補償給付の各支給処分の申請を行い、その後各支給処分の申請について支給決定がなされた。

そこで、原告が、労災保険料の納付義務の範囲が増大して直接具体的な不利益（約750万円の保険料の増大）を被るおそれがあるとして、業務災害支給処分（当該労災認定）を違法として行政取消訴訟を提起した事案。

【判決の要旨】

労災保険法は、被災労働者等の法的利益の保護を図ることを目的とし、これに反する事業主の利益は保護の対象としていないものと解するのが相当である。そして、労災保険事業において、要件の判断を誤った業務災害支給処分がなされることで、保険給付額に一部過大な給付が含まれ、又はその他の事情により保険料が過少となる場合がありうるが、労働保険の保険料の徴収等に関する法律（以下、「徴収法」）が予定する労災保険事業の運営の在り方としては、そのような個別の事象は、労災保険事業全体の長期的な収支によって均衡を図ることが予定されており、事業主の不服申立てによる給付の是正は予定されていない。

また、いわゆるメリット制の目的は、労働保

険料に関する事業者間の公平性と災害防止努力の促進にあり、個々の保険給付の適正化が含まれるとは解し難い。メリット制に係る特定事業主の利益は、あくまで、徴収法に基づく労働保険料の認定処分との関係で考慮されるべき法律上の利益となり得るにとどまるものと解するのが相当であり、事業主の不服申立てにより、個別の保険給付自体の是正を図ることが予定されているものとは言い難い。

したがって、労働保険料の認定処分に対する事業主の不服申立権は、労働保険料の認定処分との関係で考慮されるべき事業主の利益を保護することを意図した制度であり、徴収法が、個別の保険給付に係る特定事業主の利益を保護していると読み取ることはできない。

以上より、特定事業主の利益は行訴法9条1項にいう法律上保護された利益には該当せず、特定事業主は、業務災害支給処分の取消訴訟の原告適格を有しない。

なお、いわゆる違法性の承継の問題について、特定事業主の労働保険料の認定処分に係る法律上の手続的保証の観点からは、徴収法上の労働保険料の認定処分に対する不服申立てないし同処分の取消訴訟において、労働保険料の算出において考慮される業務災害支給処分が取り消されていない場合であっても、その違法性を取消事由として主張することが許される余地があると解するのが相当である。

【経団連 労働法制本部】

【シリーズコラム 士業の広場 第18回】

会員向け新サービス【士業ネットワーク】の運営開始から1年が経過いたしました。それを機に、当ネットワークにご在籍の士業会員の皆様をより知っていただきたく、リレー形式によるコラムを掲載することとなりました。

『地域社会と人のために』

旭社会保険労務士法人 所長 木村 薫



水戸市で開業社会保険労務士をしておりま
す木村 薫と申します。

茨城県経営者協会の皆様には、日頃よりお世
話になっております。

今回は、私の業務案内について機会を頂きま
してありがとうございます。

まず、社会保険労務士（社労士）についてど
のような業務を行っているかをご紹介します
と思います。一言で申し上げれば、企業における
人に関することは社労士が行う業務になりま
す。従業員の入退社における手続から労働保険
の年度更新、社会保険の算定基礎届、各種助成
金などの申請業務、労働者名簿作成、賃金計算、
就業規則作成などです。その他、労務管理業務
や年金相談、労使トラブル対応もごさいます。
このように、企業や社会において重要な役割を
果たしているのが社労士なのです。茨城県には
520名超の社労士が登録しております。私たち
は、今後ますます地域社会や人のために高い
専門知識と責任感をもって業務を遂行し、社労
士の認知度を向上させていきたいと考えており
ます。

さて、ここからは私の紹介をさせて頂きま
す。開業は平成18年になります。当初は自宅
にて業務を行っておりましたが、平成23年に
水戸に拠点を移しました。令和3年に法人化し
まして、現在は、社労士2名を含め総勢12名
にて業務にあたっております。関与している
企業は水戸市を主に県内全域にわたっており
ます。

地方の中小企業は、コロナ禍が落ち着いて
いるとはいうものの、経営は厳しい状況が続いて
います。私は、常に企業に寄り添った対応を肝
に銘じております。行う業務は、各企業の事情
により多岐にわたります。最近では労使トラブル

対応をする機会が増えているように感じます。
働き方改革により、法律改正が頻繁にありま
す。時間外労働の上限規制、ハラスメント防止
対策の強化、育児・介護休業法の改正などが施
行されており、企業は対応していくのが大変で
す。

また、来年は2024年問題といわれている、
建設事業、自動車運転の業務、医師の時間外労
働時間の上限規制猶予が廃止されます。該当す
る企業は、どのように対応すればよいか苦慮し
ています。私は、企業の実情を理解しながら支
援をしていきたいと考えております。

経営者は業績に関心が高いと思いますが、そ
れを支えているのは企業で働く従業員です。従
業員が気持ちよく働くために、職場環境を改善
することは重要です。そのお手伝いをするこ
とにより、地域貢献を行うことが私の使命と思
い日々業務に励んでおります。



法人：旭 社会保険労務士法人
住所：〒310-0852 水戸市笠原町1750-9
TEL：029-306-9234

偏屈爺の甘辛放談②⑤

世界を魅了する天才プレイヤー・大谷翔平

今、東北地方の岩手県で生まれ育った一人の青年が海を渡り、日・米はもとより世界中のベースボールファンを魅了し続けている。もちろん、MLB（メジャーリーグベースボール）のロサンゼルス・エンゼルスに所属し、`投打二刀流、で活躍している大谷翔平選手のことだ。7月5日に29歳になったばかり。この若者のスタジアムで躍動する英姿に、どれだけの人々が元気をもらい、すがすがしい気持ちにさせられていることだろうか。かく言う小生もその一人である。

打者としてバットを一振りすれば誰よりも高く遠くへボールを飛ばし、ホームランを量産する。投手としてマウンドに立てば160キロを超える剛速球と切れ味するどい変化球を織り交ぜて三振の山を築いていく。ヒットや四球で塁に出れば俊足を生かして盗塁を決める。文字通り、投げて、打って、走れるスーパー・スターである。

少年野球などでは強打者で投手というケースはしばしば見受けられるが、それがそのまま成長して世界最高峰の舞台であるメジャーでの活躍となると誰もが驚かされ、まさに異次元の世界を見せられているようだ。この大谷選手の活躍は野球史上、伝説となって永く後世に語り伝えられることだろう。

■人間性にも魅力

何故に世界中が大谷選手の活躍にこれだけ魅了されるのだろうか。それはスタジアムでの連日の投打にわたっての活躍はもちろんだが、現代の世相も大きく影響しているように思える。メディアでは昨年2月24日のロシアによるウクライナへの軍事侵略以降、凄惨な爆撃や破壊の映像が毎日のように報道され、人々はその非人道的な蛮行を見せられ言葉には尽くせぬほど

鬱々とした気持ちにさせられている。また、プーチン以外にも北朝鮮の金正恩、米国前大統領のトランプ、中国の習近平など、どれをとっても一国の指導者として「まとも」とは思えない。まさに世界中の指導者が病んでいるかのようで、人類の未来に光明を見出すことがいかに困難なことか。

そうした中での大谷選手の活躍が、どれだけ私たちの鬱屈とした気持ちを変えさせてくれるか。まさに一服の清涼剤である。これがスポーツの力なのだろうか。

■生き方そのものに学ぶ

大谷はメジャーでの記録を次々と塗り替えているが、いまだ発展途上であり、どこまで進化していくのか分からない。ただ世界中のベースボールファンを魅了し、子供たちに夢と希望を与え続けるメジャーリーガーは、単にプレーのみでなく、その言動でも私たちを魅了する。

投打二刀流に取り組む思いについて「誰もやったことがないからやっています。自分だけしかやっていないことが魅力」「無理だと思わないことが一番大切だと思います。無理だと思ったら終わりですから」。また野球世界一を競ったWBCでの米国との決勝戦に臨む前、ナインに向かって「今日だけは（大リーガーに）憧れるのをやめましょう。それを超えるために。僕たちはトップになるために来たので」と呼びかけた言葉には心底、感動させられた。

これはただ単にスポーツの力というものではなく、大谷翔平という人間性、そして真摯でストイックなまでに野球に打ち込み、限界に挑み続ける生き方そのものに私たちは魅せられるのかもしれない。（2023年7月10日）

茨城新聞社
社史編纂委員
元論説委員長

おぬま たいら
小沼 平氏

茨城経協・ベトナム経済視察に参加して

日本貿易振興機構(ジェトロ)茨城貿易情報センター
所長 吉田 雄

7月5日から7日にかけて「茨城経協・ベトナム経済視察」に参加しました。ベトナムは何度か訪れたことがあります。昨年は常陸牛のプロモーションのためダナンに1泊、その前はコロナ禍の渡航制限直前にホーチミンに0泊(往復機中泊!)と、タッチアンドゴー状態の出張ばかりでしたので、今回現地2泊3日で様々な企業や団体、大学を訪問でき、改めてベトナムの今、そして更なる発展に向けた力を感じました。今回は紙面の都合で印象的だったことを2点、ご紹介したいと思います。

まずは人的な交流についてです。茨城県におけるベトナム国籍の在留外国人は昨年6月現在13,891人で、2位の中国(12,145人)をおさえてナンバーワンになっています。大多数は製造業や農水産業、サービス産業等を支える技能実習生ですが、県内で活躍する高度人材(大卒等)も着実に増えてきています。そのような人材関係では、人材の送り出しを行っているESUHAI社(カイゼン吉田スクール)や理系のトップ校であるハノイ工科大学を訪問しました。

ESUHAI社は、「出稼ぎあっせん機関であってはならない」という問題意識のもと、まず日本語学校を設立し、その後、送り出し業務を行うようになったという沿革がユニークです。校舎はホーチミン市の中心部にJICAの低金利融資で建設されており、家賃上昇にびくびくせず、腰を据えて教育に取り組むことができるようになったそうです。同社の里村副社長は、「技能実習生本人がどういつもりで日本に行くかが大切。日本人はちゃんと学びたい人材に対してはしっかり教え、育てる。ものすごく成長して帰国する生徒も多い。ただし、本人が勉強できるだけの日本語能力があることが条

件。」と仰っていて、まさにその通りだと感じました。技能実習制度については様々な批判があるものの、その後訪問した日系企業でも、本社に技能実習生として派遣し、技能を身につけて貰い、帰国後、ベトナムの工場でリーダーとして活躍して貰っているという話を伺い、技能実習制度が本来の趣旨通りに機能していると感じました。ベトナムでは、ほとんどの企業が18~30歳までの労働者のみを募集しているため、30歳を過ぎると失業率が上昇するそうで、ベトナムにおいてしっかり日本語教育を受けた上で、日本でスキルを身に付け、帰国後も30歳の壁を越えてキャリアアップを果たしていくには、前段としての日本語教育の重要性を改めて認識しました。

次にイノベーションについてです。ベトナムにおけるIT産業の発展は仄聞していましたが、正直なところ、付加価値が低い工程を人件費が低廉な国にアウトソースしているというイメージでした。今回訪問したFPT社は1988年創業で、社名はFood Processing Technologyに由来するそうです。直訳すれば「食品加工技術」株式会社になるでしょうか。食品加工技術を通じて当時貧しかったベトナムに貢献したいという志を持った13名のベトナム人科学者が創業した会社です。90年代に入ってIBMやマイクロソフトといった米国のIT企業がベトナムに進出するなか、それらの企業のパートナーとして成長し、今ではベトナム最大のIT企業という言葉では表現しきれないほど、グローバルに活動しています。現在、欧米や日本を中心に、世界27か国にオフィスや開発拠点を有していますが、日本を最重要市場として位置付け、例えばFPTソフトウェア社の従業員

2万7000人の半数は日本向けの仕事に従事しているそうです。また、FPT社の日本法人は2,600人の従業員を抱え、大手自動車メーカー、家電メーカー等のシステム開発やDXを支えています。この従業員のうち600名が日本人、その半分がビッグファームから転籍したコンサルタントとのことで、上流工程を含め、ワンストップでEnd to Endのサービスを提供できる体制を整えています。更に驚くべきことに、世界的なIT人材需要の高まりのなかで自社で大学を設立し、毎年1万人の優れたIT技術者を輩出し、うち3割がFPT社に就職するそうです。人材の層が厚く、日本企業のパートナーとしての存在感はますます高まっていくと感じました。

ベトナムは1995年にASEANに加盟し、当時は先発ASEAN諸国に対して後発ASEANの一員、あるいはカンボジア、ラオス、ミャンマーとともに国名の頭文字をとってCLMVと呼ばれていました。経済規模が比較的小さく、所得が低水準であることから、ASEANの主要命題であった経済統合において、特段の配慮が必要な国とされていました。その後、チャイナプラスワンの動きや、最近では米中対立のなかで、この30年間着実に成長し、経済の足腰を鍛え、現在に至ります。等身大のベトナムはASEANをリードしうる大きな存在でした。日本とベトナムとの信頼関係を基盤に、両国がともに発展していくことを願っています。

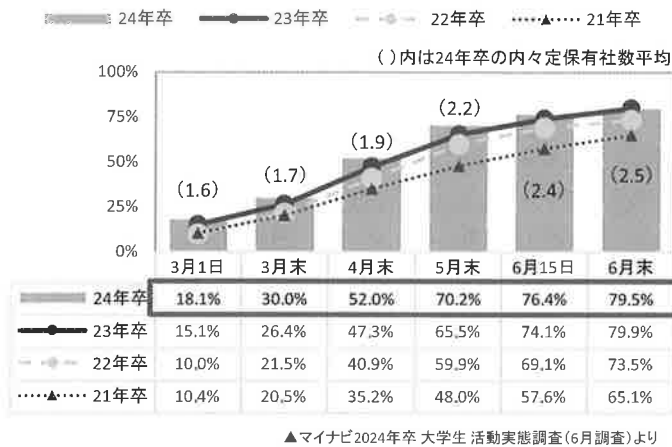


ホーチミン市内の街並み

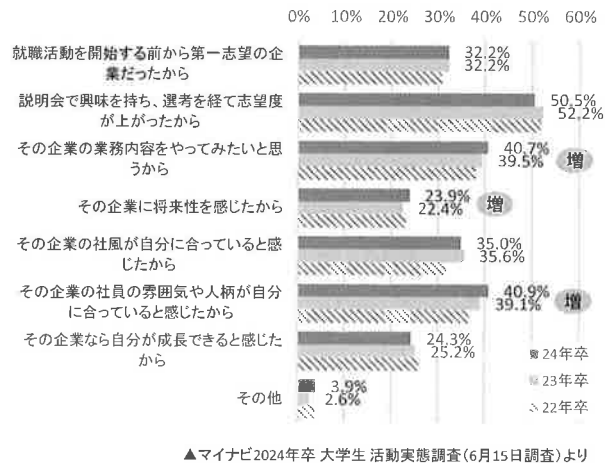
選考解禁日の6月1日を過ぎ、2024年卒学生の就職活動も終盤を迎えつつあります。今回は直近の内々定保有状況、平均2社以上の複数内定を保有する中で入社先を決定するポイント、また入社予定先の配属先についての学生の考え方について取り上げます。

■選考解禁日(6/1)以降の内々定状況、および入社先決定のポイント

●内々定保有率および保有社数(経年比較)



●入社予定先を決めた理由(複数回答)



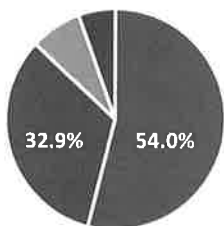
左グラフは2024年卒学生の内々定保有率(経年比較)です。6月末時点での内々定保有率は79.5%(前月比9.3pt増)、平均内々定保有社数は2.5社(前月比0.3pt増)となりましたが、前年より速いペースで推移していた内々定保有状況も高い水準で落ち着いてきています。

なお、6月15日時点の調査で、内々定を得たことがある学生のうち、その時点で入社先企業を決定していると回答した割合は前年とほぼ同じの67.8%という結果でした。そして入社先企業を決定した学生にその理由を調査した結果が右グラフです。最も多かったのは前年同様「説明会で興味を持ち、選考を経て志望度が上がったから」(50.5%)、前年からもっとも増加幅が大きかったのは「その企業の社員の雰囲気や人柄が自分に合っていると感じたから」(40.9%)で前年比1.8pt増となりました。この社風や社員の雰囲気については、就職活動初期の企業選択のポイントにおいても重視されている項目で、入社予定先の決定に関しても同じような傾向が見られることがわかります。

一方で「その企業の業務内容をやってみたくから」や「その企業に将来性を感じたから」などの項目も増加しています。社員の雰囲気や人柄という要素は非常に重要であるものの、接した社員の態度や学生自身の受け取り方に寄る部分の大きい、捉えづらい要素でもあります。業務内容のようにより具体的かつ仕事に直結した要素などと合わせて、複合的な視点で企業を見て入社予定先を決定することは、入社後に働き始めた際、自身のやりがいを複数の軸で持てることにもつながり、それは入社後に受けるリアリティショックを分散させる効果も期待できると考えられます。

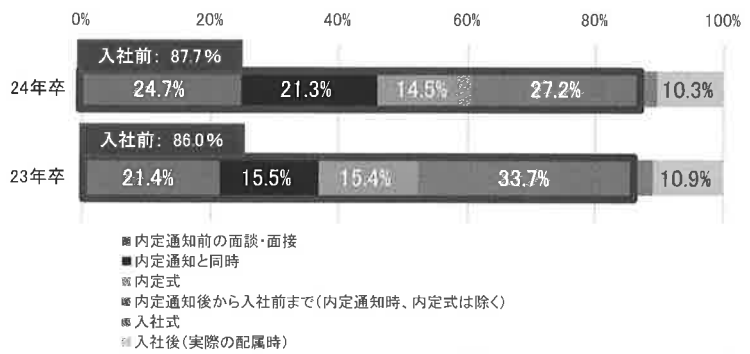
■入社後の配属先に関して

●入社後の勤務地・職種に対する考え方



- 勤務地・職種ともに自分で適性を判断して、選びたい
- 勤務地は自分で選びたいが、職種は適性をみて会社に判断してほしい
- 職種は自分で選びたいが、勤務地は適性をみて会社に判断してほしい
- 勤務地も職種も、適性を見て会社に判断してほしい

●入社後の配属をいつ知りたいか



左円グラフは入社後の配属先(勤務地・職種)に対する考え方を調査した結果です。最も多かったのは「勤務地・職種ともに自分で適性を判断して、選びたい」(54.0%)でした。8割近い高いインターンシップ・仕事体験参加率を背景としたキャリア感の醸成と、男女ともに共働き志向が高まるライフスタイルへの考え方の変化に伴い、入社後の勤務地や職種を自分で判断して決めたいと考える学生が多いと考えられます。

右グラフは入社後の配属先をいつ知りたいかを聞いた調査結果です。勤務地や職種を自分で決めたいという考え方に伴い、配属先について入社前に知りたいと考える学生が前年同様、多く見受けられました。特に「内定通知前の面談・面接」や「内定通知と同時に」の割合が前年より増加しており、配属先に関してより早い段階で知りたいと考える学生が増えてきているようです。

災害後の復旧に向けて

茨城 NPO センター・コモンズ 代表理事 横田 能洋 氏

7月に入っても山口県や九州各地で豪雨が続き、数年前に大きな洪水や土砂災害に遭った被災地が再び被災しています。今後、茨城の那珂川や久慈川、桜川、そして常総市を流れる鬼怒川や小貝川で水害が起こるのではないかと感じる日々です。先月の台風2号の際の内水氾濫により400世帯が床上浸水した取手市の双葉地区にコモンズは継続して支援に入っています。

今回、多くの人の働きかけで取手市双葉地区が災害救助法適用になったことで、住宅の応急修理（70万円の修理費が市から業者に支払われる制度）や被災者生活再建支援制度（被害状況に応じて再建資金が支払われる制度）が動きました。ですが、高齢世帯が多く制度の理解や申請手続きが難しい被災者が多くいるため、わかりやすい資料を作成したり、説明会を開くなどしています。車がない方が遠い市役所までに申請に行くのも大変なのでボランティア送迎もしています。

常総水害でもそうでしたが、家の改修に数百万円かかると言われ、得られる支援が100万円にも満たないと被災者は再建をあきらめたくありません。また再び水害に遭うのではないかという不安もあり

ます。常総では、人口の1割が再建をあきらめ市外に流出しました。水害で怖いのは、こうした人口減と空き家の増大だと思います。先日、数十名が水害で死亡した岡山県倉敷市の真備町に行きました。西日本豪雨から5年が経ちましたが、全壊で殆ど家が壊されたのに、8割もの住宅が再建されていて驚きました。水島コンビナートの企業に勤める若い世代が多かったから再建できたのか、とにかく人が戻って本当に良かったと思いました。

取手市双葉地区では、浸水被害が大きかった地区に空き店舗がありました。その場を被災者が集える場にできたら、常総でつくった「えんがわハウス」のようなことができると思いました。その空き家の所有者を調べると、NPO活動でつながりがある弁護士の方でした。

財団助成や寄付でこの場を改修し、被災者の相談の場、疲れを癒す場としたいと申し出たところ活用を快諾してくれました。不思議な縁を感じました。現在、常総で5棟空き家の改修に関わってきた人たちが、改修作業を行っています。ここが完成すれば、住民同士が互いに励まし合って住宅と町の再建に少しでも近

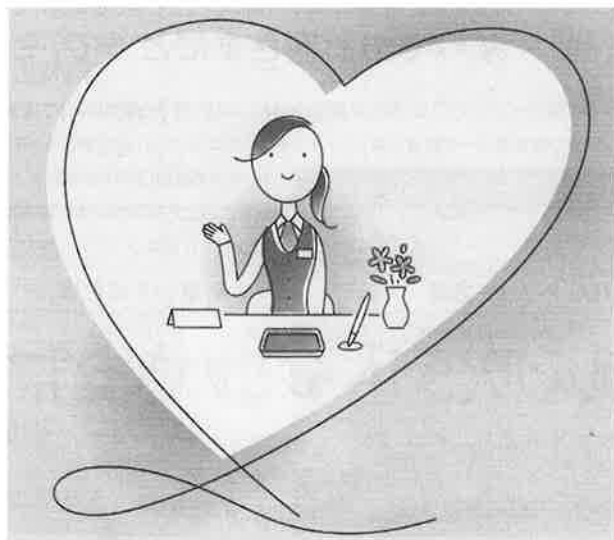
づくと思います。被災した幼稚園の再開支援の寄付募集もしています。先日は、自治会と取手市役所との話し合いも行われました。要配慮者が孤立するのを防ぐには、個人情報の壁を越えて情報共有ができる仕組みを作る必要があります。今回は避難指示も流れませんでしたでしたが、次に水害の恐れがある際には住民に迅速に情報伝達と避難誘導をする必要があります。何より、今回の水害の要因を明らかにし、水防工事や治水対策が説明されなくては、住民は安心できません。

この地区は、もともと高齢世帯、空き家が多く、移動や買い物支援のニーズがあります。このような場所は県内各地にあるでしょう。双葉地区が、自治会を中心に、自主防災、空き家活用、移動支援などで住民と行政が連携して取り組むことができれば、良い住民自治のモデルになると思います。コモンズは息長くこの地の復興と、小貝川や鬼怒川流域での自主防災に取り組んでいきます。こうした活動に参加、ご支援いただける企業の方はぜひコモンズにご連絡ください。

TEL: 0297-44-4281

コモンズ横田まで

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。



常陽銀行

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

2023

時代、文化、組織...
「これくらいだろう」という自分の中の、限界

壁を、こえよう。

『BE BEYOND』

私たちが目指すのは
「スーパーマーケット」の、次のカタチ

株式会社 カスミ

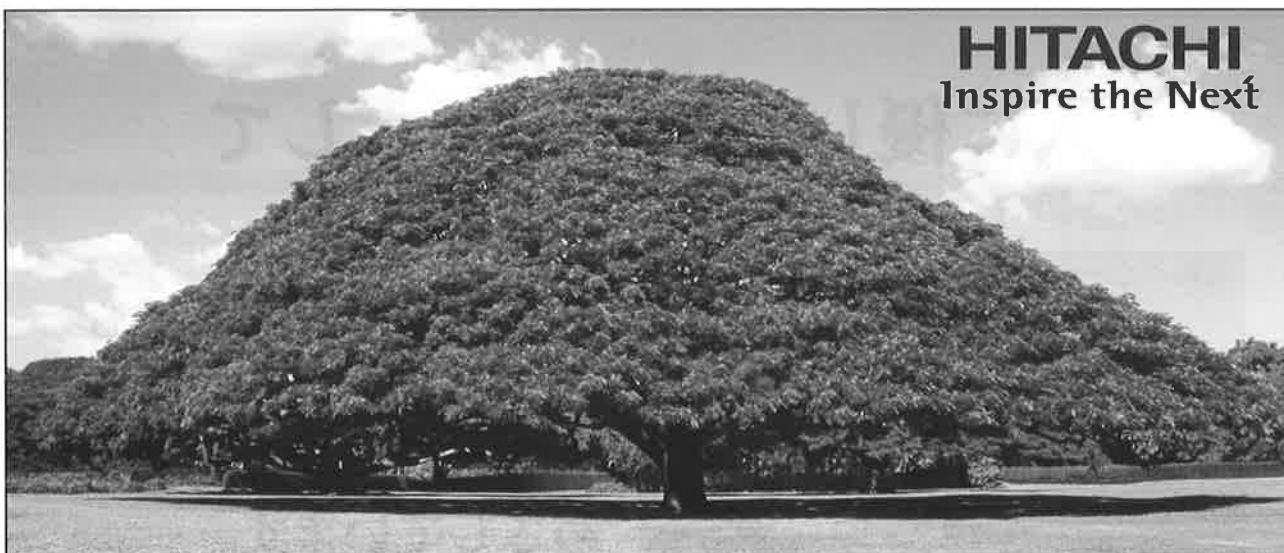
〒305-8510 茨城県つくば市西大橋599-1
TEL.029-850-1850

KASUMI

<https://www.kasumi.co.jp/>



HITACHI
Inspire the Next



次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。

時代はいま、新しい息吹を求めて、大きく動きはじめています。

今日を生きる人々がいつも元気でいられるように、明日を生きる人々がいつもいきいきとしていられるように。

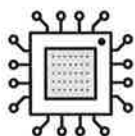
日立グループは、人に、社会に、次の時代に新しい風を吹き込み、豊かな暮らしとよりよい社会の実現をめざします。

日立の樹オンライン www.hitachinoki.net

株式会社 日立製作所 株式会社 日立ハイテク 日立グローバルライフソリューションズ株式会社 日立Astemo 株式会社
株式会社 日立ビルシステム 株式会社 日立産機システム 株式会社 日立インダストリアルプロダクツ 日立オリジンパーク

21

共創型化学会社へ



次世代半導体
を共創する



車の電動化
を共創する



次世代高速通信
を共創する



脱炭素×ケミカル
リサイクル
を共創する

RESONAC
Chemistry for Change

2023年1月1日、昭和電工マテリアルズは昭和電工と統合し、「レゾナック」へ社名変更いたしました。

株式会社レゾナック

山崎事業所 〒317-8555 茨城県日立市東町 4-13-1 TEL(0294) 22-5111

下館事業所 〒308-8521 茨城県筑西市小川 1500 TEL(0296) 28-1111

つくばサイト 〒300-4247 茨城県つくば市和台 48 TEL(029) 864-4000
(先端融合研究所、高分子研究所、計算情報科学研究センター)

茨城県内立地のグループ会社

日本ブレーキ工業株式会社、株式会社レゾナック・テクノサービス、
株式会社レゾナック・オートモーティブプロダクツ、
株式会社レゾナック・アブライドカーボン、株式会社HKSP

人材確保・再就職・出向をサポート

約500人のコンサルタントが全国対応。利用料・紹介料無料

産業雇用安定センターとは
人材を送り出す企業と人材を受け入れる企業との間で様々な
人材マッチングを支援している公的機関です。

約23万人の
実績

サービスのラインナップ

1 人材確保・再就職の 人材マッチング

専門性の高い人材を雇いたい、
人材を確保したい

マッチング

事業の整理・縮小を
検討している

2 キャリア人材バンク

能力・技術を有する
高齢者の雇用を検討

マッチング

65歳以降もまだまだ
働きたい

3 人材育成・企業間交流の ための出向支援

新規分野開拓のために
経験者を受け入れたい

マッチング

他企業での就業経験により
従業員の能力・技術向上を
図りたい

4 セミナー事業(有料)

- 新入社員研修・フォローアップ研修
- リーダーシップスキルアップセミナー
- マネジメントスキルアップセミナー
- ハラスメントセミナー など

公益財団法人 産業雇用安定センター 茨城事務所

〒310-0803 水戸市城南1-1-6 サザン水戸ビル4階

TEL 029-231-6044 FAX 029-233-3602

産業雇用

検索



心を込めて、信頼できるカーライフ

茨城トヨタ



CROWN



CROSSOVER RS "Advanced"

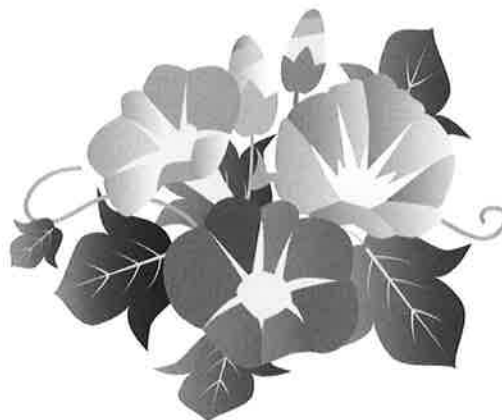
茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町 1887 〒310-0851

TEL 0120-090110

<https://www.ibaraki-toyota.jp/>

START YOUR IMPOSSIBLE TOYOTA



無料経営相談(土業ネットワーク)のご案内

当会では、会員土業(税理士・公認会計士8名、社会保険労務士15名、司法書士10名、行政書士4名、弁理士1名)のご協力のもと、会員の皆様が事業を推進していく上での様々な課題やニーズ等が発生した際、お気軽に専門家である土業に相談できる「土業ネットワーク」を立ち上げております。

日頃の事業推進の際のお悩みごとに対応頂ける専門家による相談体制が整っておりますので、是非ご活用下さい。

例えば

- 財務書類作成、法人税、相続税等の会計業務・税務に係るご相談
- 経営改善・事業承継支援・働き方改革等の経営コンサルティングについてのご相談
- 新型コロナウイルス関連をはじめとした各種助成金のご活用、申請方法に関するご相談
- 新型コロナウイルス対応も含む従業員の休業や賃金制度の整備、人事制度、就業規則の見直し、ハラスメント対応等を始めとした各種労務管理面のご相談
- テレワーク導入等労務のIT化に伴う就業規則の見直し
- 勤怠システム導入・クラウド化、テレワーク化等の業務IT化の支援
- 営業許認可の取得・申請等に関するご相談
- 行政関係手続きの電子申請のご支援又は代行に関するご相談
- 外国人労働者の在留資格取得・帰化申請等手続きに関するご相談
- 土地の売買や役員変更、株式発行等の不動産・商業登記に係るご相談
- 民事信託を活用した事業承継・財産承継に関するご相談
- 特許・商標等の取得に係るご相談 etc

ご相談は初回無料となります。当会土業会員の方々へのご相談の取り継ぎを行ってまいります。つきましては、お悩み事がございましたら、事務局宛にお気軽にお問い合わせ下さい。

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 茨城県経営者協会 事務局(黒澤・澤畑)

TEL : 029-221-5301

FAX : 029-224-1109

E-MAIL : kurosawa@ikk.or.jp